試験開始の指示があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません

令和８年度佐賀県クリーニング師試験問題

２　公衆衛生に関する知識

【注　意　事　項】

１　解答用紙に、「受験番号」と「氏名」を忘れずに記入してください。

２　机の上には受験票と筆記用具のみを置いてください。

３　携帯電話は、必ず電源を切るかマナーモードにし、机の上には置かないでください。

４　解答は、答案用紙にＨＢ又はＢの鉛筆（ｼｬｰﾌﾟﾍﾟﾝｼﾙ）で記入してください。

５　１つの問題には、複数の選択肢があります。１つを選び解答してください。

６　試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気づいた場合は、手を挙げて監督者に知らせてください。

７　試験中にトイレ、体の不調、筆記用具の落下など試験担当者に用事がある場合は、手を挙げて監督者に知らせてください。

８　試験問題については、各自持ち帰ってください。

令和８年度　クリーニング師試験

（佐賀県）

試　験　問　題

【公衆衛生に関する知識】

問１　ＷＨＯ憲章に関する以下の記述のうち、正しいものを（　　）のＡまたはＢから選び、解答欄に記入しなさい。

ＷＨＯ憲章に示された健康の定義では、「健康とは①（Ａ 肉体、Ｂ 経済 ）的、②（Ａ 知能、Ｂ 精神 ）的ならびに③（Ａ 社会、Ｂ 文化 ）的に完全に良好な状態であって、単に④（Ａ 疲労、Ｂ 疾病 ）や⑤（Ａ 貧困、Ｂ 虚弱 ）でないということだけではない。」としている。

（佐賀県）

問２　次の文章について、正しいものを（　　）の①または②から選び、解答欄に記入しなさい。

（１）空気中の酸素濃度が（① １８％未満、② ２８％未満 ）になったとき、その空気を吸入することにより発生する症状を酸欠症という。

（２）水は体内で重要な生理作用を営んでおり、体重の（① １／３以上、② ２／３以上 ）は水によって占められている。

（３）水道水の原水の塩素消毒によりフミン類と塩素が反応して生成する（① トリハロメタン、② フッ素 ）に代表される消毒副生成物による、肝障害や発がん性が懸念されている。

（４）赤外線は波長が８００ｎｍより（① 長い、② 短い ）ものをいい、熱作用が著しく熱中症を引き起こす。

（５）一酸化炭素中毒に最も弱いのは（① 肺、② 脳 ）の組織である。

（佐賀県）

問３　次の文章の（　　）にあてはまる語句を下記の語群から選び、そのアルファベットを解答欄に記入しなさい。

（１）伝染病予防法、性病予防法および（　　）予防法を廃止・統合して「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」（感染症法）が新たに制定され、１９９９（平成１１）年４月１日から施行された。

（２）狂犬病やマラリアなどの感染症は、感染症法に基づく分類において、（　　）感染症に分類され、動物、飲食物等の物件を介して人に感染し、国民の健康に影響を与えるおそれのある感染症である。

（３）かつて患者数が大きく減少したが、その後、増加に転じた結核やマラリア等の感染症を（　　）感染症という。

（４）特定保健指導は、血圧、血糖、脂質、腹囲などの脳・心臓疾患のリスク要因に応じて、「動機付け支援」と「（　　）支援」が行われる。

（５）クリーニング所の環境整備として、（　　）や界面活性剤などが含まれる住宅用洗剤等を適切な濃度で染みこませた布等で拭き取ることで、細菌やウイルス除去に、より効果的と考えられる。

【語群】

Ａ 積極的	Ｂ エイズ	Ｃ ５類	Ｄ ４類
Ｅ 次亜塩素酸ナトリウム		Ｆ 新興	Ｇ 消毒用エタノール
Ｈ 再興	Ｉ 結核	Ｊ 手段的	

（佐賀県）

問４　次の文章のうち、正しいものには〇印を、誤っているものには×印を解答欄に記入しなさい。

（１）ＷＢＧＴは、不快指数とも呼ばれ、人が感じる蒸し暑さの程度を示す指標である。

（２）引火性溶剤を用いるドライクリーニングを営む工場は、工場の規模等にかかわらず、住居系・商業系用途地域では一律に立地が制限される。

（３）エイズは、ヒト免疫不全ウイルス（ＨＩＶ）の感染によって引き起こされる疾患で、主な感染経路は、せき、くしゃみ、入浴などである。

（４）クリーニング所は、水質汚濁防止法において、洗濯業の用に供する洗浄施設が特定施設に該当するため、厚生労働省への届出の義務がある。

（５）大気汚染防止法では、テトラクロロエチレンによるドライクリーニング機（密閉式のものを除く）については、処理能力が１回当たり３０ｋｇ以上の施設に指定物質抑制基準が設定されている。

（佐賀県）

問５　次の文章のうち、正しいものには〇印を、誤っているものには×印を解答欄に記入しなさい。

（１）製品として貸与されるおしぼりの衛生基準として、変色及び異臭がないこと並びに大腸菌群及びセレウス菌が検出されないこととされている。また、一般細菌数については、１枚当たり１０万個を超えないことが望ましい。

（２）日本の結核対策は、健康診断、予防接種、患者管理、結核医療を柱として一貫した対策を行っており、ＢＣＧ接種は予防接種法に基づかない任意接種となっている。

（３）ノロウイルスの消毒方法として、下洗いしたリネン類の消毒は８５℃・１分間以上又は８０℃・１０分間以上の熱水洗濯が適している。

（４）指定洗濯物の消毒方法として逆性石ケン液、両性界面活性剤等の殺菌効果のある界面活性剤を使用し、その適正希釈水溶液中に３０℃以上で１０分間浸す方法がある。

（５）新型コロナウイルス患者が使用したリネン類は、感染性があるウイルスが付着している可能性があるが、通常の洗濯と乾燥をすれば、その後は安全に扱うことができる。

令和８年度　クリーニング師試験

（佐賀県）

解　答　用　紙

【公衆衛生に関する知識】

受験番号	氏　　名

問１（４点×５＝２０点）

（1）	（2）	（3）	（4）	（5）
A	B	A	B	B

問２（４点×５＝２０点）

（1）	（2）	（3）	（4）	（5）
①	②	①	①	②

問３（４点×５＝２０点）

（1）	（2）	（3）	（4）	（5）
B	D	H	A	G

問４（４点×５＝２０点）

（1）	（2）	（3）	（4）	（5）
×	○	×	×	○

問５（４点×５＝２０点）

（1）	（2）	（3）	（4）	（5）
×	×	○	×	○